

高橋くにひこ市長に 平成25年度の予算要望をしました!

狛江市議会公明党は、昨年11月14日、高橋くにひこ市長に平成25年度の「予算編成及び行財政運営に対する要望」を提出しました。平成25年度予算は高橋くにひこ市長が初めて編成する予算であり、狛江市議会公明党は以下の項目を盛り込んだ予算編成を要望しました。

- ◆新しい福祉社会実現のために
- ◆安全で安心な生活環境の実現のために
- ◆活力あふれる地域環境の実現のために
- ◆人間性豊かな教育振興、教育環境の実現のために
- ◆効率的、対応性のある行財政運営の実現のために



高橋市長には、初めての編成のため、思い切った予算組みを期待するとともに、市民の皆様にもご注目を頂きたいと思います。



平成24年 第4回定例会で一般質問が行われました。

今回の定例会は狛江市議会公明党4名の議員が一般質問を行い、各議員が皆さまからの要望やご意見、また、日頃からの取り組んでいる政治テーマについて質疑をしたその要旨をご紹介します。

小野寺かつき議員

商工業の振興について

商店街活性化への取組みは様々な部門とのコラボレーションで検討すべきだと提案。インキュベーション施設については、創業者が信頼できうる支援のワンストップ化が期待されていることを要望。

災害時要援護者支援について

障がい者、外国人にコミュニケーション支援ボードの活用を提案。障がい者にヘルプカードの共通化検討や、聞くことが困難な方も使えるAED導入を強く要望。外国人への情報の不足を指摘し今後の充実を訴えた。災害時に誰もがわかる「やさしい日本語」の活用を要望。

かめい和美議員

色覚障がい者(児)をサポートする「カラーバリアフリー対策」

狛江市におけるHPや市の刊行物について色覚障がいの方への配慮の必要性をカラーバリアフリーの推進として強く要望。

軽度・中等度難聴者(児)への支援

学校生活に支障をきたさないよう、障害者認定基準に達しない軽度・中度難聴児に対する補聴器購入費の助成の必要性を訴える。また加齢による老人性難聴は、家庭内での孤立、閉じこもりやうつ、認知症へ進展する可能性も考えられる。超高齢社会となり老人性難聴者が増加するとも予想されることから、補聴器購入における公費助成を強く要望。

セカンドブックサービス・サードブックサービスの実施

小学校と中学校の入学時、新1年生全員にプレゼントする「セカンドブックサービス」と「サードブックサービス」は活字離れを防ぎ、一冊の本と出会いを創出する。子ども達の成長に合わせてよい本のプレゼント実現を高橋新市長には期待する。

石川かずひろ議員

介護保険制度の改善にむけて

住宅改修における「受領委任払い」(自己負担分の1割のみ事業者に支払い、残額は自治体から事業者を支払われる)において、利用者の「安心・安全」確保の視点から、事業者の登録制度導入を提案。高橋市長からは「実施に向け早急に検討を進める」との答弁。また、福祉用具購入についても「受領委任払い」での対応を要望。

LED照明の導入促進について

環境・省エネ対策、防犯・道路安全対策として、公共施設や街路灯などでLED照明化が進められているが、国のエネルギー政策、逼迫する電力事情、電気料金の値上げ等を背景に、LED照明の導入は積極的に検討すべき課題。そこで、新たに予算措置をすることもなく、電気料金の節減相当分や街路灯のメンテナンス費節減相当分でリース料金をまかなうという「リース方式によるLED照明導入」を提案。

佐々木たかし議員

安全・安心なまちづくりについて

都市計画道路3・4・17号線(都道)が世田谷通り狛江高校交差点から田中橋交差点までの区間の開通に伴う市内交通環境の変化と安全対策について問う。

福祉政策について

高齢者虐待については、防止法の施行により国民が関心を示すようにはなったが、狛江市の取り組みと課題を問い、高齢者を取り巻く環境が良い状態を保てるように要望する。

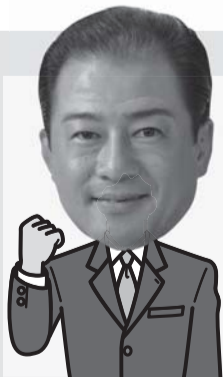
市財政の現状について

高橋新市長の目から見た市財政の現状と課題についての率直な意見を伺う。また、狛江市の基金には、条例上、繰り替え運用(基金のお金をやりくりできる運用制度)が出来ない基金があるため、条例の検討を要望する。

市民相談・法律相談を 行っています!



公明党では市民相談・法律相談を行っています。どんなことでもお気軽にご相談ください。詳しいことは、各議員へお問い合わせください。



佐々木たかし
03-5438-2173



小野寺かつき
03-3488-6863



かめい和美
03-3480-2741



石川かずひろ
03-3480-9516